

SIT+AIT+KU+KMUTT+SUT+ITB+HUCE+HCMUT gPBL:
住み続けられるまちづくり(SDGs-11)のための
環境・防災に関するワークショップ

| 実施期間 | 実施国 | 共同実施機関 | 対象 | 参加者 | 本学担当教員 |
|--------------------------|-----|---|--|---|-----------------|
| 2023年9月8日 ～2023年9月17日 | 日本 | 芝浦工業大学 アジア工科大学院 カセサート大学 モンクット王工科大学 トンプリー校 スラナリー工科大学 バンドン工科大学 ハノイ工科大学 ホーチミン市工科大学 | ・土木工学科、 社会基盤学専攻 ・学部1年生、 学部2年生、 学部3年生、 学部4年生、 修士1年生、 修士2年生 | 【芝浦工業大学】 学生43名、学生バイト9名、 教員1名、職員1名 【アジア工科大学院】 学生33名、教員2名、職員2 名 【カセサート大学】 学生18名、教員4名 【モンクット王工科大学トンプリー 校】 学生14名、教員2名 【スラナリー工科大学】 学生4名、教員3名 【バンドン工科大学】 学生12名、教員1名 【ハノイ工科大学】 学生15名 【ホーチミン市工科大学】 学生2名 | 稲積真哉 (土木工学科) |



図1 集合写真

芝浦工業大学豊洲キャンパスにおいて、「住み続けられるまちづくり (SDGs-11) のための環境・防災」をテーマとしたグローバルPBLを実施した。このグローバルPBLでは、芝浦工業大学から土木工学科を中心に43名、アジア工科大学院から33名、カセサート大学から18名、モンクット王工科大学トンプリー校から15名、スラナリー工科大学から4名、バンドン工科大学から12名、ハノイ工科大学から15名ならびにホーチミン市工科大学から2名の計142名の土木系学生が参加した。このグローバルPBL期間中は、各日午前における特別講演などの全体イベントに加え、各日午後には12グループに分かれた各グループで活動を行った。

グループ活動では、テーマである「住み続けられるまちづくり (SDGs-11) のための環境・防災」を各グループ内で共有・議論した。その成果を披露するために開催された最終発表会では、学生らしい斬新な発想が随所に盛り込まれた発表内容が多く、全ての参加者はグローバルを通じてSDGsの達成に向けて土木工学が果たすべき役割を創造することができた。

全体イベントでは、3日間に分けて Field Trip to Tokyo Bay Area (Toyosu-Odaiba) を開催した。モダンで洗練された都市景観に、gPBL参加学生一同、目を輝かせていた。また、さまざまな土木分野で活躍している研究者・技術者の皆様 (Prof. Dr. Geoff of AIT ; Prof. Dr. Santoso of AIT ; Prof. Dr. Susit of KU ; Prof. Dr. Supakij of KU ; Dr. Porjan of KU ; Dr. Sutasinee of KU ; Mr. Ricky of SANSHIN Corp. ; Mr. Thiti of SIT) から、興味深い事例紹介を踏まえた大変貴重な講演をいただいた。これらの講演は、参加した学生たちにとって非常に貴重な情報源であり、知識の宝庫となった。



図2 聴講中の学生 (1)



図3 聴講中の学生 (2)



図4 グループ活動の様子 (1)



図5 グループ活動の様子 (2)



図6 聴講後の学生



図7 最終発表中の学生